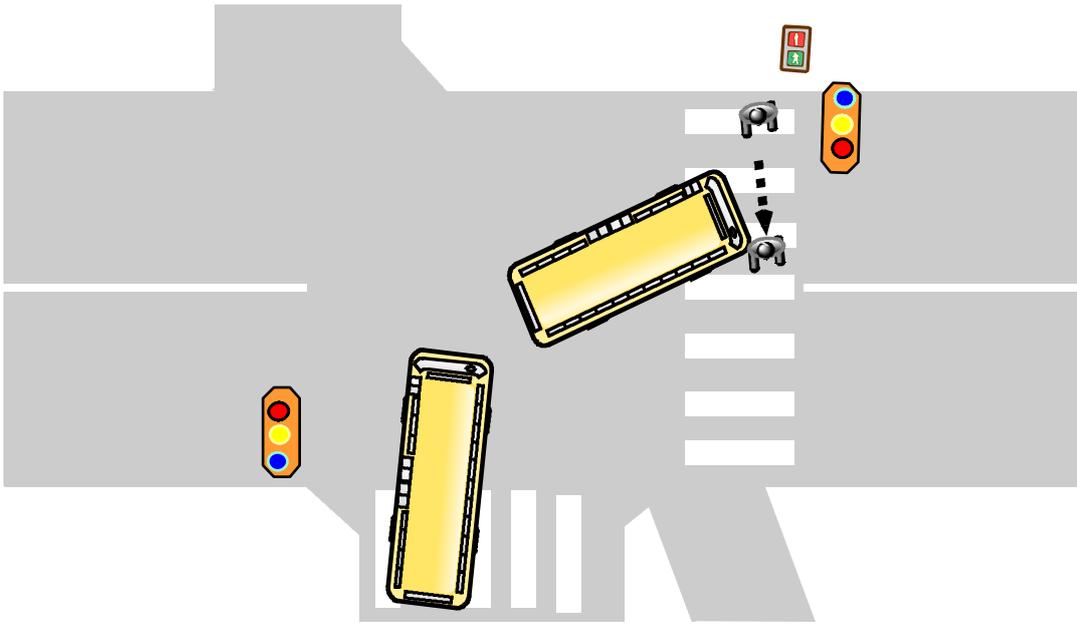


事故事例 13 (一般乗合) 交差点右折時、前方から横断中の歩行者と衝突

曜日・時間・天候	7月12日(水)・11時35分・曇り
場所	一般道 制限速度 40km/h
道路の状況	乾燥
運転者	年齢40歳 運転歴2年4月
乗務開始～事故発生の乗務距離	99km
損害	重傷者1名
事故概要 当該運転者は5時35分に出庫し、所定のダイヤにより運行、11時35分頃、回送にて駅前交差点を右折する際、青信号で横断歩道を通行中の歩行者と車両右側前部が接触する。これにより歩行者は転倒して、頭部を打ち重傷を負ったもの。	
	
種別・形状	普通・リアエンジン
乗車定員	60名
当時の乗車人員	1名(回送中)

推定原因
運転者

- ・右折時の安全確認不徹底

事故の要因
運転者

- ・右折時の歩行者の確認が不十分のため、歩行者を見落とす
- ・運行表を運転席右側に立て掛けていたことから、死角となる部分が広がった。

事故再発防止対策
運転者

- ・右左折時の歩行者の動向に十分注意すること。
- ・右左折時の横断歩道を通過する際、一時停止すること。
- ・回送運行運転中においても、気をぬかないこと。
- ・掲示物等を視野の妨げとなる場所に配置しないこと。

運行管理

- ・運転者に対し、交差点の右左折時における歩行者の確認、把握方法の指導
- ・具体的危険箇所に対する指導
- ・適性診断結果に基づく適切な助言指導の実施
- ・回送運行においても、気を抜かぬよう安全運転の励行を指導